

社会福祉法人制度改革のポイントの紹介をします

昨今、在宅サービスや保育所等を中心に社会福祉事業の主体として営利企業やNPO法人の参入が進み、それらの企業や法人と同様の事業のみを実施するだけでは社会福祉法人の存在意義が理解されにくくなってきました。社会福祉の主たる担い手である社会福祉法人に対する厳しい指摘もある中で、今回関連する制度の見直しが進められ、あしたー工房も現在取り組んでいます。

◆改革の視点

- ①福祉ニーズが多様化する中、社会福祉法人の役割が重要となっており、公益財団法人等と同等以上の公益性・非営利性を確保する必要。
- ②多様な事業主体の参入や一部法人による不適切な運営のため、社会福祉法人の存在意義が問われており、国民に対する説明責任を果たすことが急務。
- ③他の事業主体では対応できない福祉ニーズを充足することにより地域社会に貢献することが社会福祉法人の使命。

◆何がどう変わるの？

- ①経営組織の見直し（組織体制の不明確な点や財務諸表でチェックが不十分）
 - * 評議員会の必置化、議決機関化…理事等の選任・解任や役員報酬の決定など重要事項を決議
 - * 理事・監事等の権限・責務・責任の明確化…善管注意義務・法人に対する損害賠償責任等
 - * 親族その他特別の関係のある者の理事への選任の制限の厳格化
- ②透明性の確保（積極的に情報を公表し、運営を社会的監視の下に置くことが必要）
 - * 閲覧対象書類の拡大と閲覧請求者の国民一般への拡大
 - * 財務諸表、現況報告書、役員報酬基準、役員報酬総額、親族等関係者との取引内容のインターネットによる公表の義務付け
- ③適正かつ公正な支出管理（適正な役員報酬、調達の公平性妥当性を担保するための仕組みが必要）
 - * 役員報酬基準の作成と公表、役員等の区分ごとの報酬総額の公表、個別の役員報酬額の所轄庁への報告の義務付け
 - * 親族等関係者への特別の利益供与を禁止
 - * 開示の対象となる関連当事者の範囲や取引額を拡大（取引額1千万円を超える額→100万円を超える額）
- ④地域における公益的な取り組みの責務（市場で安定的・継続的に供給されることが望めないサービスを提供することが求められる）
 - * すべての社会福祉法人に対し、日常生活又は社会生活上支援を要する者に対する無料又は低額の料金の福祉サービスを提供することを責務化 等々（主なものを抜粋）

◆制度見直しで社会福祉法人が問われていること

社会福祉基礎構造改革を含めてこれまでに問われてきたことに対して、社会福祉法人関係者が十分にこたえてこなかった結果、今日社会福祉法人への厳しい指摘が相次いでいます。特に今問われているのは個々の社会福祉事業ではなく、実施主体としての社会福祉法人のあり方、法人経営の質であるという受け止めが何よりも重要であり、真に法人を主体とした社会福祉法人経営が求められる時代を迎えています。

そして、その根底には、福祉諸制度が存在しなかった時代に私財を投じて慈善救済に取り組んだ先人たちの志、その志を受け継ぎ、創設した人たちの思いや理念を念頭に、今一度社会福祉法人関係者はそれらに思いを寄せ、再確認しなければなりません。

その上で、今回の改革を前向きに捉え、これを活かしていくことで、改めて社会福祉法人の存在意義を高らかに示していく契機とする必要があります。

（全国社会福祉法人経営者協議会編 社会福祉法改正のポイントより抜粋）



あしたー工房通信

題字 郷萬侑希
第12号



発行：社会福祉法人 京丹波福祉会 あしたー工房 京都府南丹市園部町横田7号7番地 TEL 0771-63-5053 Fax 0771-63-5383



クリスマス講演会



12月25日に奥村幸治氏をお招きし、「一流の習慣術」というテーマで講演を行っていただきました。その経歴から「イチローの恋人」とも言われる奥村氏の講演は、タメになるお話ばかりでした。中でも「大きなビジョンを叶えるために、頑張れば手が届くような目標を設定してクリアすることの積み重ねが大切」というお話は、誰にも通じるものだと思います。今回のお話を、自分たちの仕事にも活かせるように頑張っていきたいと思います。奥村さん、講演を聞きに来てくださった皆さん、本当にありがとうございました。



あしたー工房 日帰り旅行



今年は10月28日と11月22日の2回に分かれて淡路ワールドパークONOKOROに行きました。現地では天気にも恵まれ、みんなで楽しく過ごすことができました。昼食では淡路島特産の玉ねぎをふんだんに使った料理をいただきました。最後に集合写真も撮って大満足の旅行となりました。

グループホーム 一泊旅行

12月3、4日にかけて福井県へ一泊旅行に行ってきました。1日目は恐竜博物館。動く模型には皆さんびっくりでした。夜はお待ちかねの宴会。豪勢な夕食にカラオケもあり、飲めや歌えの大騒ぎでした。2日目は東尋坊へ。大自然の持つ迫力に圧倒されました。今回の旅行も素晴らしい思い出になりました。また来年度も皆さんと楽しく旅行ができますように。



クリスマス会

今年もあしたーる工房クリスマス会を家族会協力のもと行いました！
当日は、皆で協力して壁一面に鮮やかな装飾を作ったり、恒例の大沢ファミリーによるコンサートやビンゴ大会等が行われにぎやかな雰囲気楽しいクリスマス会となりました！！



製パン班

新しい商品のための試作をしています。初めてのレシピで、ぎこちなくもありますが、支援員と一緒に、前向きに取り組まれています。



メロンパンのクッキー生地を作っています。材料一つひとつ、計量間違いのないよう慎重に1gの違いまで確認しながら量っています。



空き缶班

いつも空き缶を提供していただきありがとうございます。プルタブ取り、袋入れをみんなで分担して作業しています。準備や片付けも積極的に取り組んでいます。



フロアモップを使用して工房清掃をしています。他にも雑巾で窓拭きや壁の掃除など、毎日使う工房がきれいになるよう頑張っています。



農耕班



皆でそばの種をまきました。うっすらと土が被るように、くわを使って土をならしていきます。

1か月も経つときれいな白い花が畑一面に咲きます。このまますすく大きくってほしいです。

収穫前に台風が来てしまい、茎が倒れてしまいました。雨や風はそばにとっては天敵となるそうです。

収穫を終えたそばの実を乾燥させ、石臼を使って挽いています。石臼は重たいですが、美味しいそばを食べる事を目標に頑張りました。

下請け班



毎朝農耕班から新鮮な野菜が届きます。マツモト様、フレッシュバザール様、生協様（水・金）に納品し、四季を感じながら丁寧に土を落とし、出荷の準備をしています。

新しい種類の箱も増え、難しい箱にもチャレンジしています。



太陽の図様から古新聞などを入れる粗品のナイロン袋折りの内職をいただきました。2枚ずつ決められた大きさに折り、折りジワがないかチェックして納品しています。丁寧な仕事をして、信頼されらせていただけるようがんばっています。



職員紹介

《久保田支援員》

1月より育休から復帰いたしました久保田由紀子です。1年ぶりにみなさんにお会いし、できることが増えていたり、以前と変わりなく笑顔で話しかけて下さり、とても嬉しい気持ちです。どんなことでも元気に笑顔でみんなで楽しく♪をモットーに頑張りますので、よろしく願っています。

《廣戸支援員》

昨年10月7日より入職いたしました廣戸和行です。未経験の職種ですが、あまり気負わず、でも早くみなさんに認めていただけるよう頑張っておりますのでどうぞよろしく願っています。

職員募集

桜満開 笑顔も満開！
あなたの優しさここで活かせます！

生活支援員

(休日：土、日)
8：30～17：30

グループホーム世話人

(休日：シフトによる)
16：00～20：45

ヘルパー

(休日：シフトによる) ※要ホームヘルパー2級以上
7：00～19：00の内4～5h

※まずはお気軽にお電話、ご相談ください。
あしたーる工房 TEL：0771-63-5053
採用担当者：小谷、垣村

編集後記

あしたーる通信12号を無事送り出すことが出来ました。本来ならもっと短いスパンで発行していき、ご家族の方、地域の方等関係者の皆様にあしたーるの様子、取り組みをもっともっと知っていただきたいと思っています。ホームページの方は随時更新していますので、興味のある方はぜひ一度アクセスしてください♪わかりやすく、おもしろいをモットーに広報活動に取り組んでいきたいと思っておりますので今後ともよろしく願っています。

広報委員会 T.K